

ライフゆうラボ

## ライフゆうラボ 新メンバーさん紹介

今年もラボに新たなメンバーさんが加わりました。杉本捷樹(すぎもとかつき)さん、柵木和磨(ませぎかずま)さん、村野碧(むらのあおい)さんの3名です。みなさん今年の3月に支援学校を卒業したばかりです。それぞれ通所日が違うので、3人がそろう機会はなかなかないのですが、顔なじみの先輩たちもあり、すぐになじんで活動的に過ごしています。引き続き、秋田の多機能型ケアベース「にのに」とのリモート交流も楽しんでいます。今年の4月に移転＆新築し、短期入所も始めた「にのに」。明るくあたたかなパワーに満ちた姿にいつも刺激をもらっています。リアルに会える日も近いかな?!

ライフゆうラボ支援主任 里吉めぐみ

すぎもとかつき  
杉本捷樹さんむらのあおい  
村野碧さんませぎかずま  
柵木和磨さん

国際  
ソロプチミスト  
横須賀様から  
ご寄付



みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ:山本・森下 TEL: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912

社会福祉法人「みなと舎」広報誌

# SSKU たまごむし

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直

〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17

tel.046-855-3911 fax.046-855-3912

キャンドルナイト

ライフゆう

## ライフゆう オープンデイ

ライフゆう支援主任  
安藤優子

新型コロナ感染症の位置づけが5類となった五月、

晴れやかにオープンデイを開催し、

益々地域の皆さまたちとの繋がりを深めることができました。

今年はワイワイ集まって、食べる、話す、をテーマに、サブタイトルとして  
「改めましてライフゆうです!」ということで、

メンバーさんと共に事前準備に取り組んでまいりました。

恒例のオープニングセレモニーでは、バンドの生演奏が響き渡る中、  
沢山のシャボン玉がそよ風に吹かれ自由に飛び、  
スタッフによる傘を花火に見立てたダンスが披露された後、  
色とりどりの風船が青空に舞い上がり、スタートしました!!

今年の来場者数は…なんと!!350名以上!!

当日のボランティアさんは34名。

ライフゆう開所以来一番の盛り上がりとなり、

駐車場では、「じゅうじゅう亭」を

はじめ、地場野菜や餃子、焼き芋等のお店が立ち並び大盛況!!

今年は抽選会を開催し、“ライフゆう”をもっと知ってもらいたいと  
クイズラリーにしたおかげで、2階フロアのパンやクッキー、プリン等の軽食も  
あっという間に完売でした。久しぶりの家族との談話に

笑みがこぼれるメンバーさんも大勢いました。

そして今年初のファンタスティックでロマンティックな演出は…  
メンバーさんとスタッフで力を合わせて作った“キャンドルナイト”。

あまりのクオリティの高さに絶賛!!

幻想的で心休まる暖かな素晴らしい空間となりました。  
きっと皆さん的心の中に焼き付いたことでしょう…

ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

これからも地域の皆さま、ご協力いただいた皆さまに感謝の気持ちを忘れずに  
楽しくて、にぎやかで、元気いっぱい笑顔いっぱい幸せいっぱいの  
“ライフゆう”でありたいと改めて思う一日でした。

じゅうじゅう亭

- ライフゆう  
ライフゆうオープンデイ

- ケアホームはなえみ  
新しい生活の始まり

- ゆう  
世界にひとつだけの藍染めづくり

- ヘルパーゆう  
いろんな体験を求めて足を延ばします

- ライフゆうラボ  
新メンバーさん紹介

- 「国際ソロプチミスト横須賀」様から  
ご寄付

110号  
2023年08月



ケアホームはなえみ  
新しい生活が始まり



「ケアホームはなえみ」は平成15年10月から、「ケアホームはなあかり」は平成21年4月から今まで、各ホーム、男性2人、女性2人の4人ずつで暮らしていました。

この度、4月1日付けで、2事業所を統合して1事業所に。名前は「ケアホームはなえみ」です。建物は今まで通り2棟なので表札名は残し、これをきっかけに思い切って住み方を変え、「はなえみ」は男性棟、「はなあかり」は女性棟にしました。

それで、半数の方は移動することになり、3月末に、メンバーさん達が「ゆう」に通所していらっしゃる間に引越しました。当日は、法人内の他事業所スタッフ、メンバーさんのご家族も手伝って下さり、午前中で殆どの荷物の出し入れは終わりました。家具、布団はもちろんのこと、引越しても部屋の雰囲気が変わらないよう、カーテンもカーペットもご本人が使用していたものは全て運びました。

男性棟の「はなえみ」は3月末にメンバーさんがお一人亡くなられたので、現在3人ですが、引越の後もメンバーさん同士、おおらかにのんびり暮らしていらっしゃるご様子。今まで、スタッフは女性だけでしたが、4月からは、男性スタッフも入るようになりました。

女性4人の「はなあかり」は、居間でおしゃべりに花が咲いているので

しょうか、雰囲気がなんとなく華やかです。

最初のケアホーム入居時は、親から離れて自立するということを、ご家族からご本人にしっかりお話していただきましたが、お話を聞いた後、体調を崩されてしまふと入居されるのが遅くなつた方がいらっしゃったこと思い出しました。

この度、「何処で、誰と暮らしたいですか?」なんてメンバーさん達には、お聞きませんでしたが、「こういうふうにしたいのでご協力お願いします」「住む所はすぐ近くで、一緒に暮らす人も、今までよく知っている人です」ということを話しました。

ケアホームのメンバーさん達は通所の時も一緒、合同でコンサートをしたり、バス旅行に行ったり、食事会をしたり、長い間に家族のような間柄になっていたからでしょうか、スタッフが勝手に決めたことを、大人の対応で受け入れて下さったような気がします。

今までスタッフは、どちらかのケアホームに固定で入っている人が多かったのですが、今年度からは、両方のケアホームで仕事ができるようになりました。

これからもスタッフ一同、メンバーさんのご本人らしい生き方、暮らしを試行錯誤しながらも支えていきたいと思っています。

ケアホーム管理者 中田光子



もう一回!  
がんばろう!

## ケアホームはなえみ

名称が1つに、男女のホームに分かれました



はなえみ

はなあかり



世界に  
ひとつだけの  
藍染めづくり

気持ち良い日差しの中、メンバーさんとスタッフで力を合わせ、「藍染め」をしました。

エコバッグを「藍」の液が入ったバケツに入れ、良く染まる様に数回、出したり入れたりを繰り返します。

その後、流水で洗ったあと、色止めの為に酢水に付けて乾燥させたら出来上がりです。

物干しに下がった、世界にひとつしかないエコバッグが風に揺れます。

今年も素敵な「藍染め」が出来上がりました。

「大切にしてくれる人のところに届くといいね!」とメンバーさんの笑顔が伝えてくれます。

ゆう支援スタッフ 沖川理恵



ヘルパーゆう

い ろ ん な 體 驗 を 求 め て 延 ば し ま す



コロナ規制も緩和され、6月からはいろんな体験を求めて、重度訪問介護の外出で足を延ばしました。湘南国際村からバスに乗り、いざ汐入方面へ!久しぶりのバスに驚かれるメンバーさんもいましたが、バスの車窓から流れる景色を楽しまれています。コースカやヴェルニー公園を散策し、普段とは異なる雰囲気にメンバーさんも自然と表情が和んでいきました。そしてお昼の時間。お昼ご飯はどれを食べようかとワクワクしながら、いい匂いに誘われ店内へ。店内で召し上がるのも久しぶりで、よく味わっていらっしゃいました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。

6月からは、国際村内の散策と足を延ばした重度訪問介護の外出を再開しました。これからも、いろんな体験を通して楽しめる外出にしていきたいと思います。

ヘルパーゆうサービス提供責任者 天野健司・松永孝太郎